



Maintenance Manual

2022.12 ver.001

inter.office
MARKET
fittingbox

椅子・ソファ

取扱いの注意

◎必ず水平を保つように設置し、踏み台にする等、座る以外の目的で使用しないでください。歪みのある不安定な設置状態で使用を続けると、変形して製品の強度が著しく劣化し、破損の原因となります。

◎高温・多湿の部屋では、カビやダニが発生しやすくなり、健康を害する恐れがあります。また、直射日光、冷暖房器具の熱や空気が、長時間にわたり直接家具に当たらないようにしてください。変形、変色、製品強度を劣化させる原因となります。

◎床に置いたまま引きずって無理に移動すると、床を傷つけたり、製品に無理な力が加わり、製品強度を劣化させ破損の原因となります。また、移動中に落としたり、倒したりすると、ケガや他のモノを壊す原因となるばかりでなく、製品の強度が劣化し、破損の原因となります。移動する時には、製品の重量に見合う無理のない人数を揃えて、落としたり、倒したりしないよう、手でしっかりと持って運んでください。

◎普通に座る以外の力が、椅子・ソファに加わると、接合箇所の接着やネジのゆるみ、また変形により、ぐらつきが発生する場合があります。万一、変形やぐらつきを感じたら直ちに使用をおやめください。

テーブル・デスク・収納

取扱いの注意

◎テーブル・デスクの上に腰掛けたり、立ったり、踏み台代わりに使用しないでください。転倒、ケガ、他のモノを壊す原因となるばかりでなく、製品の強度が劣化し、破損の原因となります。特に、ガラステーブル、フォールディングテーブル(折り畳みテーブル)、エクステンションテーブル(引き伸ばしテーブル)、天板置き式テーブル(天板と脚部が非固定)は、構造的に非常に危険です。

◎扉などにぶらさがったり、引き出しや引き手などに乗ったり、無理な力で引っ張ったりしないでください。製品の転倒や破損、またケガの原因となることがあります。引き出しは、勢いよくいっぱい引き出すと抜け落ちてケガの原因となることがあります。扉や引き出しの開閉は、指を挟むなどのケガのないよう、静かにゆっくりと注意して行なってください。扉の開閉角度の限界以上に無理に開閉すると、扉の破損やケガの原因となります。また、扉の蝶番(取り付け金具)の固定用ネジ類にゆるみがないか時々点検し、ゆるみははじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用を続けると、扉が落下して、製品の破損やケガの原因となります。

◎取り外しのできる棚は、棚受け具を確実に取り付けてください。中途半端な状態では、棚がはずれて、ケガや他のモノを壊す原因となるばかりでなく、製品や積載物の破損の原因となります。

◎床に置いたまま引きずって無理に移動すると、床を傷つけたり、製品に無理な力が加わるため強度が劣化し、破損の原因となります。また、移動中に落としたり、倒したりすると、ケガや他のモノを壊す原因となるばかりでなく、強度が劣化し、破損の原因となります。移動する時には、製品の重量に見合う無理のない人数を揃えて、倒したりしないよう、手でしっかりと持って運んでください。また、移動の時は、中の収納物や取り外しのできる棚板、扉、引き出しをすべて外し、さらに取り外しのできない扉や引き出しは、移動中に開かないよう必ず鍵をかけるかテープなどでしっかり固定してください。◎使用目的以外の力が家具に加わると、家具としての強度が極端に弱まり、変形したり、接合箇所の接着やネジがゆるみ、ぐらつきが発生する場合があります。万一、使用中に変形、ぐらつきを感じたら、直ちに使用を中止してください。

◎必ず水平を保つように設置してください。歪みのある不安定な設置状態で使用を続けると、変形して扉の開閉や引き出しの出し入れがスムーズでなくなったり、製品の強度が著しく劣化し破損の原因となります。

◎高温・多湿の部屋では、カビやダニが発生しやすくなり、健康を害する危険があります。家具の背面にも空気が流れるよう、壁から10センチメートル程離したり、部屋の換気にご注意ください。直射日光、冷暖房器具の熱や空気が、長時間にわたり直接家具に当たらないようにしてください。変形、変色、製品強度を劣化させる原因となります。

天然皮革・合成皮革

取扱いの注意

- ◎革は弾力性、保温性、耐摩擦・摩耗性、吸湿・放湿性などの特徴を持ち、家具の張地をはじめ様々な製品に使用されます。
- ◎天然素材のため、表情は均一ではなく個体差が表れます。また貴重な資源を無駄にしないという観点から、強度などに問題がなければ動物が生きている間にできた傷などは取り除いていないため、製品の表面に傷などが表れる場合があります。
- ◎できるだけ直射日光が当たらないようにしてください。
- ◎熱に弱いため、エアコンの噴出し口やストーブの近くには置かないようにしてください。
- ◎ビニール製品などを長く接触したままにしておくと変色やカビの発生の原因になります。
- ◎購入後すぐ市販の革製品用プロテクト剤を塗っておくと、革の美しさを長く保つことができます。

日常のお手入れ

- ◎掃除機で埃やちりを取り除くようにしてください。
- ◎乾拭きは、押しつけず、軽く埃を払う程度にしてください。
- ◎強く擦りつけるような乾拭きは表面の埃を革の毛穴に押し込んでしまいますのでご注意ください。革は熱や水に弱く、シミができて変色してしまうことがありますので、水分をこぼしたり汚してしまった場合にはすぐに拭き取り、手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。
- ◎表面に積もった埃は汚れの原因になりますので掃除機でこまめに吸い取ってください。
- ◎年1回くらいの割合で、革製品専用の保護クリームを薄くのばすように塗っておくと永く品質を保てます。
- ◎人工皮革は天然皮革に比べてお手入れは簡単です。天然皮革と同じように、日常の手入れや汚れたらすぐに対処してください。

汚れてしまった場合

- ◎食べ物や飲み物の汚れは水でぬらした柔らかい布で丁寧に拭き取ります。塩分の多い味噌汁や醤油などをこぼした場合は、後で塩の結晶が表面に吹き出ることがあるので特に念入りに拭き取ってください。このとき強くこすると表面を傷つけたり色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- ◎乾燥は風通しをよくして直射日光を避けて自然乾燥してください。ヘアドライヤーなどで高温で乾燥させると、変形や型崩れの元となりますのでおやめください。
- ◎ボールペンやマジックの汚れはベンジンなどは絶対に使用せず、必ず専用のクリーナーを使用してください。
- ◎ハンドクリームや日焼け止めや整髪料など油分による汚れがついた場合、しっかりと乾拭きし余分な油分を取り除いてください。
- ◎シミ汚れは3%程度に薄めた中性洗剤を30~40℃くらいのぬるま湯で薄めた液を柔らかい布に浸し、軽く絞って表面をたたくように汚れを落とします。その後、硬く絞った蒸しタオルでよく拭き取り、吸水性のあるやわらかい布でやさしく乾拭きし、直射日光を避け自然乾燥させます。
- ※汚れによっては、汚れが取れずシミや汚れの広がる可能性がありますので、必ず目立たない所で試してから行ってください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色やキズの原因になりますので使用しないでください。
- ◎固形のワックス、また革以外の製品用のワックスやクリーナー、化学雑巾、漂白剤などは使用しないでください。◎硬い布、消しゴムなどは使用しないでください。◎ハンドクリームや牛乳などは使用しないでください。

【推奨メンテナンス用品】

天然皮革用のメンテナンス用品はレザーマスター社「レザーケアセット」を推奨します。取扱い説明書に従いご使用ください。

籐（ラタン）

取扱いの注意

◎籐製品（ラタン）は極端な乾燥と湿気を避けてください。温風の当たる場所や直射日光にさらされる場所は避け、湿気の多い場所で使う場合はカビ予防のためにも換気をしっかりと時々陰干ししてください。

◎雨季では空気中の水分による伸縮が激しいため、湿度の高い時期は伸びてたるむ感じが出ます。その際に局部的な力を加えますと伸びて戻らないことがありますのでご注意ください。

◎なるべく常に通気性の良い場所にてご使用ください。また、1か所に集中するような強い力が加わると破れる可能性があります。

◎自然素材となる為、色やサイズに個体差がありますのでご了承ください。

日常のお手入れ

◎埃がたまりやすいので、ブラシノズルをつけた掃除機かほうきで目にそって掃き掃除の上、乾拭きしてください。

◎また籐は自然素材なので湿度によって伸び縮みします。湿度が高いときは座ると背中やお尻の跡がつくことがあります。しばらくすると戻ります。

◎濡らしてしまった場合はすぐに水分を拭き取り、陰干ししてしっかり乾燥させてください。

◎ほつれやササクレが発生した場合は先端に木工用ボンドをつけ固定し、ほつれが広がらないよう、早めに対処をしてください。

汚れてしまった場合

◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。強くこすると光沢がなくなってしまうのでご注意ください。

◎カビが発生した場合は市販のカビ除去剤を水で薄め、籐の方向に沿って拭きとり、水でぬらして固く絞ったぞうきんで拭き取ってください。水ぶき後はよく乾燥させます。

注意点

◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色や傷の原因になりますので使用しないでください。

◎研磨入りの洗剤は使用しないでください。

ファブリック

取扱いの注意

◎直射日光のあたる場所には設置しないでください。

◎汚れた場合は、早目にお手入れしてください。

◎手垢や汗による汚れは、特に布地を劣化させやすく色落ちや破れの原因になります。肌が直接触れる部分（肘や座面前、背もたれなど）は、日常のお手入れを心がけてください。

日常のお手入れ

◎柔らかいブラシでブラッシングしながら表面を叩いたり、掃除機で埃を取り除くようにしてください。

◎毛足の長いものは毛並みに沿ってブラッシングをしてください。タオル地のようなループのものは、はぼうきで埃を払うか掃除機で吸い取ってください。汚れがついてしまった場合は長時間おくと汚れが取れ難くなってしまいますので、すぐに濡れ拭きで拭き取るようにしてください。

汚れてしまった場合

◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取ってください。その際、後ろから前、上から下、または毛並みに沿って拭くようにしてください。その後吸水性のある柔らかい布でやさしく乾拭きし、直射日光を避け自然乾燥させます。カーペットクリーナーやカーペットシャンプーなどは使えますが、必ず目立たないところで試してから使用してください。

注意点

◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色や破れの原因になりますので使用しないでください。

樹脂・プラスチック

取扱いの注意

- ◎一般的に、石油を原料とした合成樹脂に成形加工を施したものを指しています。ほとんどの樹脂製品は可燃物であり引火性が高いため、周囲での火気の取扱いは厳禁です。
- ◎直射日光のあたる場所には設置しないでください。長時間放置すると白化する場合があります。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。
- ◎乾いた布などで拭く際は静電気を生じやすいのでご注意ください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色やキズの原因になりますので使用しないでください。
- ◎クレンザーなどで磨くと表面に微細な傷をつけ、埃が溜まり除去しにくくなるので使用しないでください。

木材・突板材

取扱いの注意

- ◎放熱器具など、直接高温になるもののそばに設置すると、接着剤のはがれ、乾燥によるひび割れの発生、塗装面の変色、剥離の原因になりますので避けてください。木材は直射日光にさらされると日焼けにより痛んだり、乾燥し反りが出てくる問題が起こる場合があります。
- ◎直射日光を避けて設置してください。また、エアコンの直接風はひび割れの原因になることがありますので避けてください。特に乾燥が気になる場合は加湿器のご使用を推奨します。湿度は40～60%が適切です。
- ◎高温のものを上に置くと、内部の接着剤がはがれる原因となります。高温のものを置く際は耐熱の敷物を使用してください。このとき、雑誌や新聞を敷かないでください。紙が表面にはりついて取れなくなる場合があります。
- ◎カップなどを底面が水に濡れたままの状態ですべて長時間置いておくと、白い輪染みの原因になります。
- ◎焼き物など、底面がざらついているものは天板の表面を傷つける恐れがありますので十分に注意してください。

日常のお手入れ

- ◎普段はまめに乾拭きをして、水分等をこぼしたり汚してしまったらすぐに拭き取るようにしてください。
- ◎その際強く擦り過ぎると表面のツヤが変わることがありますのでご注意ください。
- ◎つや消し塗装の家具に家具用ワックスを使うと、色ムラになってしまう場合があるのでご注意ください。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色や傷の原因になりますので使用しないでください。

ラッカー塗装・ウレタン塗装

取扱いの注意

- ◎木の表面に樹脂の塗膜を作り保護する仕上で、オイル仕上などの表面に塗膜を作らない仕上に比べ汚れなどに対し強く、日々の取扱いは簡単です。一方、ご使用の間に起こる塗膜の傷・劣化・摩耗・剥離などは避けられません。また、紫外線が塗膜を透過するため、日焼けにより経年変化してきます。
- ◎塗装劣化が早まる場合がありますので、強い直射日光が当たる場所、温度・湿度変化が激しい場所でのご使用はできるだけ避けてください。
- ◎熱いもの・冷たいもの・水分を含むものを直接乗せたり、放置しないでください。シミ・変色の原因となります。
- ◎傷・剥離の原因となりますので、家具をぶつけるなどの衝撃は避けてください。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は塗膜の剥離や溶解がおき、変色やキズの原因になりますので使用しないでください。

オイルフィニッシュ

取扱いの注意

- ◎乾性オイルを木部に染み込ませて浸透・乾燥することにより木の導管を塞ぎ、湿度の変化や水分・汚れなどから木部を守り表面を仕上げる方法の為、表面に塗装膜がありません。
- ◎表面は濡れ色になり木の自然な風合いを際立たせ、使い込むほどに深みのある落ち着いた色と光沢に変化をしていきます。
- ◎品質を永く保つために1年に1~2回、オイルを擦り込むことをおすすめします。柔らかい布にオイルを少量染み込ませ、よく擦り込んだ後、別の布で乾拭きしてください。
- ◎水濡れなどによりシミや跡ができやすいため、直接熱いものや濡れたものが触れないようにしてください。
- ◎テーブルでご使用の場合は、普段から布製のテーブルクロスやランチョンマット・コースターなどをご使用いただくことをお勧めします。

日常のお手入れ

- ◎柔らかいきれいな乾いた布を用い毛羽立ちやささくれを防ぐため、必ず木目に沿って行ってください。
- ◎汚れなどは水または薄めた石鹸水に浸し固く絞った布で拭き、すぐに乾拭きをして水分を取ってください。
- ◎水拭きを繰り返すと表面のオイルが落ち乾燥の原因になる為、定期的にオイルを使用したお手入れを行ってください。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤を拭き取り、乾拭きします。その後、オイルを塗布して仕上げてください。
- ◎浅い傷やシミなどは目の細かいサンドペーパーで木目に沿って丁寧にやすりがけをし、オイルを擦り込みます。
- ◎周囲との色ムラに気をつけながら、オイルを薄く伸ばし仕上げてください。

【推奨メンテナンス用品】

市販されている木部用オイルフィニッシュ剤がご使用頂けます。火気のある場所での使用や保管はしないようにご注意ください。また、オイルを含んだ布は、自然発火する可能性があります。十分に水に浸し、ビニール袋などでしっかり密封してから捨ててください。

ソープフィニッシュ

取扱いの注意

- ◎木部表面にせっけん水を塗り込むことで、木の持つ自然な風合いを生かす北欧生まれの仕上げです。
- ◎ソープウォッシュを施すことで、手垢などの汚れや経年変化の焼けを落とすことができ、木の導管にせっけんの脂肪分が残り、手垢や汚れなどから木部を守ります。また、何度もソープウォッシュを繰り返すことで、更に汚れがつきにくくなります。
- ◎お手入れは汚れが目立ったタイミングで行うことをお勧めします。

日常のお手入れ

- ◎乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。軽い汚れは、お湯にひたしたタオルを固く絞って、汚れを拭き取り、最後に乾拭きをして水分が家具に残らないようにしてください。
- ◎醤油、ソース、ジュース類、酒類などをテーブルの上などにこぼしたら、すぐに固く絞った雑巾で拭き取り、その後乾拭きしてください。
- ◎厚い保護膜がない分外部の影響を受けやすく水滴のついたコップやガラスの輪染み、金属反応による染み、底にザラ付きのある陶器による傷などを避けるためにコースターやランチョンマットを使用されることをお勧めします。

汚れてしまった場合

- ◎ソープフレイクまたはせっけんをカッターでフレイク状にしたものをお湯で溶かし、冷めるのを待ってから柔らかいスポンジにとり木目に沿って全体を洗うように作業してください。
- ◎その後、余分なせっけんの泡や水分を乾く前に拭き取り風通しの良い日陰で乾燥させてください。
- ◎直射日光やドライヤーを用いた乾燥は木部の割れの原因になりますのでご注意ください。

【推奨メンテナンス用品】

ご使用いただくせっけんは特に指定はありませんが、以下の成分表示のものをご使用ください。

- ◎せっけん素地
- ◎脂肪酸ナトリウム
- ◎純せっけん成分98%など純度の高いもの
- ◎無添加・無着色・無香料

手作りせっけん用に販売されているソープフレイクや、無添加の固形せっけんを砕いてご使用頂くことをお勧めします。

メラミン化粧板

取扱いの注意

- ◎耐久性があり、汚れに強い化粧材ですが、色柄、表面の仕上げ、使い方、汚れの種類等により、傷や汚れが目立ちやすさが異なります。また、トレイや食器などの硬いものが頻繁に擦れるような箇所でご使用されると、艶が変わる恐れがありますので、ご使用箇所にご注意ください。
- ◎水・油などの拭き残しによる跡残りや、擦れ等での表面の擦り傷、艶の変化、エンボス・柄が消える現象等が発生することがあります。
- ◎一般的には濃色ほど、艶有り仕上げや艶消し仕上げなどフラットな仕上げほど、擦り傷や汚れが目立ちやすくなります。
- ◎水に濡れたまま放置しますと、水滴（ミネラル成分）による落ちにくい水垢付着の原因となります。
- ◎ご使用後は水滴が残らないように拭き上げてください。
- ◎沸騰した鍋、ヤカンや熱油の入った鍋などは直接上に置かず、鍋敷きなどのうえに置いてください。
- ◎反りや変色を避けるために、エアコンの温風やストーブなどの熱を表面に直接当てないようご注意ください。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは、柔らかい布で空拭きまたは固く絞って水拭きをしてください。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤にやわらかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。※水拭きだけでは拭き跡が残る場合があります。
- ◎油污れはガラスクリーナー又は消毒用エタノールで拭くか、メラミンスポンジで水拭きしてください。
- ◎メラミンスポンジで特定の部位を擦り過ぎると艶の相違が生じる場合があります。あらかじめ目立たない部分でお試しの上、擦り過ぎないように注意してください。

注意点

- ◎ナイロンたわしやスチールウール、研磨剤入り洗剤などは使用しないでください。
- ◎ベンジン、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色や溶解の原因になりますので使用しないでください。

特殊アクリル樹脂化粧板

取扱いの注意

◎電子線硬化樹脂によりなめらかな手触りを実現した、特殊アクリル樹脂化粧板です。光の反射を抑えたマットな質感とシルクのようななめらかな手触りが特徴です。指紋を目立ちにくくする機能も兼ね備えており、メンテナンス性にも優れています。

代表製品として、FENIX、ベルタッチ（アイカ工業）、エスク（イビケン）などが上げられます。

◎水に濡れたまま放置しますと、水滴（ミネラル成分）による落ちにくい水垢付着の原因となります。ご使用後は水滴が残らないように拭き上げてください。

◎沸騰した鍋、ヤカンや熱油の入った鍋などは直接テーブルの上に置かず、鍋敷きなどの上に置いてください。

◎反りや変色を避けるために、エアコンの温風やストーブなどの熱を表面に直接当てないようにご注意ください。

日常のお手入れ

◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。

◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きした後、自然乾燥させてください。

注意点

◎ナイロンたわしやスチールウール、研磨剤入り洗剤などは使用しないでください。

◎ベンジン、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色や溶解の原因になりますので使用しないでください。

ガラス

取扱いの注意

◎ガラスの上で堅いものや鋭利なものを引きずったりしますと、傷のつき破損につながる恐れがありますのでご注意ください。

ガラスに傷が入った場合、強度が低下して簡単に破損する場合がありますので使用しないで下さい。

◎飾り棚などガラス棚板は耐荷重を守ってご使用ください。

日常のお手入れ

◎乾拭きまたはぬるま湯で固く絞った布でふき取り、その後水跡が残らぬよう乾拭きしてください。

汚れてしまった場合

◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。

◎指紋や軽い汚れにはアルコールも有効です。消毒用エタノールやアルコールの入ったキッチン用の衛生スプレーなどでさっと拭き取ってください。

【推奨メンテナンス用品】

市販のガラスクリーナーや消毒用エタノール（アルコール製品）をご使用頂けます。

アクリル・ポリカーボネイト

取扱いの注意

- ◎衝撃強度が強く、気温・室温の変化などにより伸縮や反りが発生する素材です。ガラスのように破損時に飛び散るケースは少ないですが、万が一破損した場合は破損部は非常に鋭利で危険ですので取扱いにはご注意ください。
- ◎引火しやすい素材ですので火気に近づけないでください。
- ◎破損の原因となりますので、無理な力を加えないでください。
- ◎破損した面に接触すると、傷が付いたり怪我をする恐れがあります。
- ◎材料の表面は静電気が帯び埃が付着しやすく、その状態でメンテナンスしますと傷の原因にもなりますのでご注意ください。

日常のお手入れ

- ◎表面は極めてキズがつきやすいため、清潔で柔らかい布で埃を払いとるお手入れをお願いします。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色や傷の原因になりますので使用しないでください。
- ◎強アルカリや揮発性有機溶剤が含まれる溶剤を使用するとクラック（表面に細かな亀裂が発生する現象）が起こることがあります。まれに中性洗剤にも同様の溶剤が含まれているものもありますので、メンテナンスの際はこれらの物質が含まれていないことを確認して使用してください。

【推奨メンテナンス用品】

静電気による埃の吸着防止にアクリル用帯電防止剤がご使用頂けます。

照明

取扱いの注意

- ◎照明器具は掃除しない状態であると汚れが光を遮り明るさが低下します。
- ◎電力の無駄遣いにもつながりますので、こまめにお手入れすることをお勧めします。また、お手入れをする際は必ず電源を切ってください。
- ◎ハロゲン電球の場合、汚れたまま点灯するとガラス球が劣化し破損の原因になります。電球には素手で触れず清潔な手袋を着用してお手入れしてください。

日常のお手入れ

- ◎本紙の各素材のお手入れ方法に従い、お手入れをお願いします。

照明

汚れてしまった場合

【電球のお手入れ方法】

電球や蛍光灯は消灯後、十分に冷めてから本体から外し、水や3%程度に薄めた中性洗剤を含ませ固く絞った布で汚れを拭き取ります。ランプの導電部分(口金やピン)を濡らさないように注意してください。洗剤を使用する場合はしっかり水ぶきをして洗剤分を残さないようにしてください。最後に乾拭きして十分に乾かしてから取りつけます。

【シェードのお手入れ方法】

照明器具は使用中は高温になります。お手入れの際は電源を切ってランプが冷めるのを待ち、素材に合ったお手入れを行ってください。

プラスチック製(樹脂製)

ぬるま湯に薄めた石鹸水をスポンジなどにつけてこすり洗います。きれいに水洗いしたらそのまま自然乾燥させます。乾いた布などで拭くと、静電気を生じやすいのでご注意ください。また、シンナーなど揮発性のものを使用するとくもりやヒビが発生しますので使用しないでください。

布・木・和紙製

普段からこまめにハタキをかけてください。特に和紙はデリケートなので注意深くお手入れをお願いします。

ガラス製

3%程度に薄めた中性洗剤を含ませたスポンジなどで優しく洗い、水洗いしてよく乾燥させます。凹凸のあるものはスプレー式のガラスクリーナーを吹きつけて、乾いた布で拭き取ってください。透明ガラスは科学そうきんで拭くと油膜がつくので注意してください。クレンザーの使用も避けてください。くもりガラスは指紋が残らないよう手袋などを使ってお手入れしてください。

金属・陶器

柔らかい布で空拭きします。シンナーなどを使用すると塗装がはがれることがあるので使わないでください。陶磁器のものは乾拭きしてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色やキズの原因になりますので使用しないでください。
- ◎化学雑巾は使用しないでください。

ステンレス

取扱いの注意

- ◎塩分のあるものの付着はサビや塗装の劣化につながりますので、速やかに除去して水拭きしてください。市販の金属用クリーナーをお使いになる場合は一度目立たない場所で試して、変色、キズの発生がないか確認の後にご使用ください。
- ◎クレンザーは、表面に傷がつくので使用しないでください。また手あかや油脂などの油汚れに埃がたまると、湿気を吸収しサビの原因となりますので、こまめにお手入れをしてください。

日常のお手入れ

- ◎乾拭きまたはぬるま湯で固く絞った布で拭き取り、その後水跡が残らぬよう乾拭きして自然乾燥させてください。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きした後、自然乾燥させてください。汚れによっては、汚れが取れずシミや汚れの広がる可能性がありますので、必ず目立たない所で試してから行ってください。

注意点

- ◎ヘアライン仕上げのお手入れは必ずヘアラインの目方向に沿ってお手入れを行ってください。
- ◎鏡面仕上げのステンレスは布で拭くと傷や跡が残ることがあります。
- ◎専用クロスを使用してお手入れ頂くことを推奨します。

【推奨メンテナンス用品】

ステンレス鏡面仕上用クロス：仕上げワイブ5351(3M)

アルミ

取扱いの注意

- ◎汚れや手の油分などは、表面に付着したままにすると変色の原因になりますので、ご使用後は柔らかい乾いた布で汚れや水分を拭き取った後、乾拭きし自然乾燥させてください。
- ◎アルミは柔らかい素材ですので擦りすぎると、傷がつく場合がありますのでご注意ください。

日常のお手入れ

- ◎乾拭きまたはぬるま湯で固く絞った布で拭き取り、その後水跡が残らぬよう乾拭きして自然乾燥させてください。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きした後、自然乾燥させてください。汚れによっては、汚れが取れずシミや汚れの広がる可能性がありますので、必ず目立たない所で試してから行ってください。
- ◎洗剤や薬品は、アルミに影響がないことをご確認の上、ご使用ください。

注意点

- ◎酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品はアルミを腐食させたり、保護層の剥がれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
- ◎歯ブラシ、サンドペーパー、洗車用のブラシ、ワイヤーブラシなどを使わないでください。製品に傷がつき、シミや腐食の原因になります。

めっき

取扱いの注意

- ◎めっきは表面処理の一種で、金属を使って金属やプラスチック(樹脂)などの表面に薄い膜をコーティングし、強度や耐久性を高める塗装処理を施したものです。手垢や皮脂や汗などの水分が錆の発生原因となります。
- ◎ご使用後は汚れを残さないよう清掃する等定期的にメンテナンスをすることで長く美観を保つことができます。

日常のお手入れ

- ◎乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色・めっき剥がれの原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。
- ◎汚れによっては、汚れが取れずシミや汚れの広がる可能性がありますので、必ず目立たない所で試してから行ってください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用はめっき膜の溶解や変色の原因になりますので使用しないでください。
- ◎強く擦って汚れを落とすのはめっきが剥がれる原因になるため、ご注意ください。

スチール焼付塗装

取扱いの注意

- ◎サビや故障、変色の原因となりますので、水のかかる所などでは使用しないでください。
- ◎直射日光や暖房機具の熱が直接あたる場所や、湿気・乾燥の著しい場所での使用は避けてください。サビや変色、変形の原因となります。
- ◎塩分のあるもの（食品など）の付着はサビや塗装の劣化につながりますので、速やかに除去して水拭きしてください。
- ◎油脂などの油汚れに埃がたまると、湿気を吸収しサビの原因となりますので、こまめにお手入れをしてください。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きしてください。
- ◎汚れによっては、汚れが取れずシミや汚れの広がる可能性がありますので、必ず目立たない所で試してから行ってください。
- ◎汚れてるときは水につけたメラミンスポンジをお試ください。
- ◎メラミンスポンジで特定の部位を擦り過ぎると艶の相違が生じる場合があります。あらかじめ目立たない部分でお試しの上、擦り過ぎないように注意してください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は塗膜の溶解や変色の原因になりますので使用しないでください。

珪瑯（ホーロー）

取扱いの注意

- ◎鉄やアルミニウムにガラス質の釉薬を焼き付け、水や熱に強くにおいや傷が付きにくいという性質を持っています。食器やホワイトボードとして使用されることも多く、防食性や防汚性に優れており軽く拭くだけで汚れを落とすことができます。
- ◎表面がガラス質のため落下や衝撃等では表面にヒビや傷が入ることがあり、傷から錆が発生することがあります。

日常のお手入れ

- ◎綺麗な布で水拭きの後、乾拭きしてください。
- ◎汚れた雑巾を使用すると表面に傷が入る場合がありますのでご注意ください。

汚れてしまった場合

- ◎水拭きだけでは落ちない汚れがある場合は、無水エタノールや消毒用アルコールがご使用頂けます。アルコールには油を溶かす性質があるため、油分が混ざった汚れに対してもお手入れができます。
- ◎市販の専用クリーナーをご使用頂けますが含まれている成分によりお手入れ方法が異なります。使用方法をよくご確認の上ご使用ください。

注意点

- ◎中性洗剤に含まれている界面活性剤がホワイトボードに残留すると、上から書いたマーカの成分と界面活性剤が馴染んでしまい、かえって汚れを残す原因となります為、中性洗剤は使用しないでください。
- ◎ホワイトボード用のマーカーステンはアルコール系油性インクをお使いください。また、品質保証期間が過ぎたマーカーステンはアルコールが揮発し、残った剥離剤がコーティングを剥がす原因となるため、古いマーカーステンは使用しないでください。
- ◎書き残しを長期間放置するとイレーサーでは消えにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- ◎研磨剤のついたスポンジや研磨剤入りの洗剤などは使用しないでください。

磁器（セラミック）

取扱いの注意

- ◎非常に緻密で硬く、酸化して錆びることがなく、高い耐熱性、耐蝕性、絶縁性、耐摩耗性などを持つことが特徴で、陶磁器やタイルがその代表的なものです。
- ◎硬度が高く傷は付きにくいですが、割れや欠けが起きやすい性質を持ちます。
- ◎鋭利なものによる傷や、衝撃などによる破損に注意してご使用ください。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。
- ◎タイル目地材は汚れが染み込みやすいので、汚れがついたらすぐに古い歯ブラシなどに3%程度に薄めた洗剤をつけ軽くこすって汚れを除去してください。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きした後、自然乾燥させてください。
- ◎頑固な汚れはメラミンスポンジやメラミンスポンジにクリームクレンザー（粒子細）を付けてこすり取ります。※磨いた部分の光沢が変わることがあります。
- ◎こすり取った後は、十分に水拭きして、クリームクレンザーや研磨剤を完全に拭き取ってください。
- ◎表面の艶については、ご使用頂くうちに微妙な艶の違いが生じてきます。上記メンテナンスを行っても微妙な艶の違いは残ります。あらかじめ目立たない部分でお試しの上、擦り過ぎないように注意してください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色やキズの原因になりますので使用しないでください。
- ◎化学雑巾は使用しないでください。

【推奨メンテナンス用品】

市販の専用クリーナーがご使用頂けますが使用上の注意事項をご確認の上、素材に合ったお手入れ方法でご使用ください。

左官（モールテックス）

取扱いの注意

- ◎2mm-3mm程度の薄塗りであっても、コンクリートの約5倍もの表面強度を発揮する非常に強度のある素材です。そのため、ひび割れ（クラック）や剥れ、削れが発生することはほとんどありませんが、下地材まで衝撃が伝わるような強い衝撃が加わった場合は、凹みや割れが生じる可能性があります。
- ◎固いブラシや鋭利なもので天板表面を擦ると、傷が入りザラザラとした質感になる可能性があります。
- ◎高温のものや水分を長時間放置した場合、一部分だけ色の変化や輪染み跡が残る可能性があります。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きした後、自然乾燥させてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は塗膜の溶解や変色の原因になりますので使用しないでください。

塩ビシート

取扱いの注意

- ◎木目柄や金属感のあるメタリックやシングルカラー、石目や幾何学模様柄などが揃う幅広い装飾用の粘着シートです。代表製品として、ダイノックシート(3M)、ベルビアンシート(シーアイ化成)、リアテックシート(サンゲツ)、オルティノ(アイカ工業)、パロア(リンテック)などが上げられます。
- ◎表面は柔らかく破けやすいので鋭利なもので傷つけないようご注意ください。
- ◎直射日光が長時間当たると減色や日焼けを起こす場合があります。
- ◎粘着シートの端部から水分が入ると剥がれる可能性があります。水分をこぼした場合は速やかに拭き取るようお願いします。

日常のお手入れ

- ◎普段のお手入れは乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎ぬるま湯で3%程度に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞って拭き取った後、ぬるま湯に浸した布で洗剤をよく拭き取り、乾拭きした後、自然乾燥させてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は塗膜の溶解や変色の原因になりますので使用しないでください。

リノリウム

取扱いの注意

- ◎酸化亜麻仁油や石灰や木片や天然色素など自然素材から製造された製品です。
- ◎水分の跡が残りやすい素材なので直ちに拭き取るようにしてください。
- ◎コースターやテーブルマット等でシミの予防措置を推奨します。また、重量物を長時間放置すると跡になることがあります。

日常のお手入れ

- ◎乾拭き、または固く絞った柔らかいきれいな布で拭いてください。
- ◎表面に残った水分はすぐに完全に拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

汚れてしまった場合

- ◎40倍に薄めた石鹼溶液もしくは3%程度に希釈した中性洗剤に浸し固く絞った雑巾を使用し汚れを除去した後、乾拭きしてください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は塗膜の溶解や変色の原因になりますので使用しないでください。
- ◎軟石鹼や硫黄洗剤も含めて強力な洗剤は使用しないでください。
- ◎塩素や塩素を含んだ製品も使用しないでください。

大理石

取扱いの注意

- ◎高温の物を直接置くと、急激な温度の変化により割れを起こすことがありますので耐熱の敷物を使用してください。
- ◎ガラスの結露など水分を放置すると短時間でも輪染みの原因となりますので、コースターなどを利用し、こぼれた場合は即時拭きとり水分を放置しないようにしてください。撥水等の処理を施されていても同様の取扱いとなります。
- ◎雑誌や新聞紙は敷かないでください。紙のインクが反応し天板表面にはりついて取れなくなってしまう。
- ◎ざらついた物を直接置かないでください。引きずると表面に傷がつきますのでご注意ください。

日常のお手入れ

- ◎水の使用はできるだけ避け、柔らかい布でこまめに乾拭きをしてください。
- ◎指紋などの汚れを落とすために表面を濡らす必要がある場合は、布に水を含ませて汚れを落としてから、すぐに乾いた清潔な布でテーブルトップを拭いて乾かしてください。

汚れてしまった場合

- ◎毎日の使用で少しずつ付着した汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取った後、中性洗剤を残さないよう水拭き、乾拭きをしてください。
- ◎食べ物をこぼしたりボールペンなどでついてしまった汚れは時間が経つと落ちにくくなりますので、すぐに汚れを拭き取るようにして下さい。※市販の専用クリーナーをご使用の場合は、使用上の注意事項を確認の上ご利用ください。

注意点

- ◎ベンジン、アルコール、シンナー、除光液など揮発性の溶剤等のご使用は変色やキズの原因になりますので使用しないでください。
- ◎化学雑巾は使用しないでください。

人造大理石

取扱いの注意

- ◎人造大理石は樹脂を多く使っているため、非常に傷つきやすいのが特徴的です。
- ◎熱い油などの入った鍋を放置すると変色することがあります。
- ◎熱いものを置く時は、なべ敷き等をお使いください。
- ◎硬く鋭利な金属や陶器などで表面に傷が入ることがあります。

日常のお手入れ

- ◎日常の汚れや水アカなどは水拭き、またはキッチン用洗剤を浸した布で拭くだけで十分きれいになります。

汚れてしまった場合

- ◎しつこい汚れは、クリームクレンザー+スポンジまたはたわし(研磨粒子付)で弧を描くように磨いてください。その後、柔らかい布で汚れを拭き取ってください。またはメラミンスポンジやメラミンスポンジにクリームクレンザー(粒子細)を付けてこすり取ります。
- ◎頑固な汚れは、研磨剤入り不織布でこすり取ります。※磨いた部分の光沢が変わることがあります。
- ◎こすり取った後は、十分に水拭きして、クリームクレンザーや研磨剤を完全に拭き取ってください。
- ◎天板表面の艶については、ご使用頂くうちに微妙な艶の違いが生じてきます。上記メンテナンスを行っても微妙な艶の違いは残りますのでご注意ください。

注意点

- ◎コゲ落とし洗剤や塩化メチレンのような溶剤を含む塗料剥離剤は絶対に使用しないでください。これらの洗剤類はデュポン コーリアンを含むほとんど全ての人造大理石製品やプラスチック製品の表面状態を荒らし、傷つけることが確認されています。
- ◎クエン酸やアルカリ電解水の洗剤を使うと汚れは落とせますが、掃除した箇所だけザラつきが発生する場合がありますので使用しないでください。
- ◎漂白剤で掃除すると、表面が溶けてベタつきが目立ち、時間と共に黄ばみやベタつきが浮き出てくるので、漂白剤は使用しないでください。



Maintenance Manual

Publication

interoffice Ltd.

Head Office / Live Office

Lattice Aoyama Square 6F 1-2-6 Minami-Aoyama Minato-ku
Tokyo 107-0062 Japan

Osaka Branch / Showroom

Hakko Shinsaibashi AIR Bldg. 2F 1-19-1 Kita-Horie Nishi-ku
Osaka 550-0014 Japan

Fukuoka Branch / Showroom

STAGE1 kego 1-4-24 Kego Chuo-ku
Fukuoka 810-0023 Japan

Logistic Center

7453-2 Motokurihashi Gokamachi Sashima-gun
Ibaraki 306-0313 Japan

Design

NDC Graphics

【お問い合わせ】

株式会社インターオフィス

TEL : 03-5771-7631

<https://www.interoffice.co.jp/>

平日 10:00~18:00 ※土日祝日を除く